

# 情報学専攻入学者選抜試験

## 情報社会デザイン

### 問題冊子

#### 注意事項

1. 試験開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見てはいけません。
2. 問題冊子は、本表紙と白紙を含めて全部で5ページあります。試験開始後に問題冊子のページ数を確認し、落丁又は印刷が不鮮明な場合は直ちに申し出てください。
3. 試験開始後に、解答冊子の表紙とすべての解答用紙に受験番号を記入してください。また、問題冊子の表紙にも受験番号を記入してください。
4. 解答は解答冊子に記入してください。問題冊子に記入しても採点されません。
5. 問題冊子、解答冊子は切り離さずにすべて提出してください。
6. 「情報社会デザイン」のすべての問題に解答してください。

受験番号	
------	--





## 情報社会デザイン

（問1）

近年、ChatGPTをはじめとする生成AIが急速に普及しつつある。生成AIとは、文章、画像、音楽、プログラムコードなどのコンテンツを生成できる人工知能のことであり、膨大なデータを学習することによりコンテンツの生成が可能になっている。生成AIは作業の効率化や事務作業の代替といった利点をもたらす一方で、学習データの取得方法が不適切であったり、生成されたコンテンツに事実と異なる情報が含まれたりするといった問題も指摘されている。

以上を踏まえて次の（1）（2）の問いに答えなさい。

- （1） 以下に示すキーワードのうち少なくとも3つを用いて、生成AIの普及に伴って発生すると考えられる社会問題を1つ指摘し、解説しなさい。

キーワード

機械学習、ブラックボックス、シンギュラリティ、雇用、失業、ベーシックインカム、自動化、ジャーナリズム、フェイクニュース、オリジナリティ、著作権、剽窃、個人情報、法規制、免許、創造性、偏見、差別、ジェンダー、エスニシティ、マイノリティ、バイアス、学習データ、権力作用、ポストトゥルース、リスク社会、個人化、倫理的責任、公共性、多様性

- （2） その社会問題に対する解決策や対応策について、上記のキーワードを適宜用いて論じなさい。

## 情報社会デザイン

(問2)

浜松市では2023年のNHK大河ドラマ「どうする家康」の放送に合わせて「大河ドラマ館」を設置し、地域活性化を促進しようとしている。

(著作権の理由で非公開)

出典：浜松市 HP 「どうする家康 浜松 大河ドラマ館」

<https://www.city.hamamatsu.shizuoka.jp/ieyasu/drama/ieyasu.html> (2023年6月19日取得)

このような大河ドラマ等のメディア表象を生かした地域づくりに関して、どのような可能性や課題が考えられるか。以下に示すキーワードのうち少なくとも3つを用い、具体例を挙げつつ考察しなさい。

キーワード

地域アイデンティティ、地域プロモーション、ゆるキャラ、コンテンツツーリズム、メディアイベント、マスメディア、視聴者層、双方向性、広報戦略、オーバーツーリズム、当事者、時代考証、真正性、アーカイブ、歴史表象、集合的記憶、ナショナリズム、想像の共同体、文化資源、地方行政、地域経済、地方創生、まちづくり、ローカルティ